

豊かな自然環境を未来へ引継ぎ 持続可能な社会を目指して 「館山市ゼロカーボンシティ宣言」

問合せ／環境課 (☎ 22 - 3352)

1・循環型社会の形成

ごみの減量化や再資源化、既存資源の有効活用などに努め、焼却処理による温室効果ガスの排出を抑制します。

2・省エネルギーの推進

市民や事業者のみなさまの意識向上を図り、エコライフや省エネ設備導入などを推進し、エネルギー消費量を削減します。

3・環境負荷の少ないまちづくり

グリーンカーボン、ブルーカーボンなどによる CO2 の吸収量増加や、自動車への依存を少なくするための施策など、環境負荷を減らす取組みを進めます。

「脱炭素社会」の実現に向けて、行政だけでなく市民や事業者の皆様と意識を共有し、一丸となって、より一層の取組みを推進するきっかけとして、令和3年8月30日に「館山市ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

今後、市民の皆様が日常からできる地球温暖化対策などを市ホームページ等でお知らせする予定です。ご理解とご協力をお願いいたします。

表明の背景

近年、地球温暖化による猛暑や局地的豪雨などが世界中で発生しており、市でも令和元年房総半島台風等によって大きな被害を受けるなど、異常気象にさらされる危険性が高まっています。

地球温暖化という問題に向き合い、二酸化炭素 (CO2) 排出の抑制をはかるなど「脱炭素社会」の実現に向けた取組みを行うことは、未来に向けての重要な課題であり、国や県も取り組む意思を表明しています。市においても本宣言の表明をきっかけに、市民や事業者の皆様にご協力いただきながら取組みを推進していきます。

ゼロカーボンシティとは

環境省が全国に呼び掛けている取組みで、「2050年までに CO2 の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨」を公表した自治体のことです。

実質ゼロとは

CO2 などの人為的な「排出量」の削減と、森林などの自然環境保全による「吸収量」の増加により、その均衡を達成することです。



近年、地球温暖化に起因する猛暑や局地的豪雨、そして大型化する台風など、私たちは身近なところで気候変動を目の当たりにするようになり、館山市においても、激甚災害に指定された令和元年房総半島台風によって大きな被害を受けるなど、安全安心な生活を脅かす状況が生じています。このような気候変動の抑制に向け、2015年に合意されたパリ協定をはじめ、世界各国で脱炭素社会の実現に向けた動きが活発化しています。こうした中、令和2年10月に内閣総理大臣が2050年に脱炭素社会の実現を目指すことを宣言し、また千葉県でも令和3年2月に二酸化炭素排出実質ゼロ宣言をするなど、国や県を挙げて取り組む意思が示されました。館山市においても、豊かな自然環境を未来に引き継ぎ、暮らしと社会を持続可能なものとしていくため、2050年を目途に二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を実現するための取組みを、市民や事業者のみなさまと共に推進していくことをここに宣言します。

令和3年8月30日

館山市長 金丸謙一



宣言文全文や
主な取組みなど

有料広告スペース

有料
広告